

## 解答

問1 物語の登場人物だから生きているように感じられるというのではなく、アニメーションとして動かされた人物の動きそのものが本当に生きているような印象を与えるということ。

問2 細やかで小さな動きのほうが現実の人間の動きのように知覚されるということ。

問3 日常的に見慣れたものが、省略化、単純化されることでむしろ見慣れない未知のもののように感じられ、あらためてその動きの意味を確認できるから。

問4 (1) 今までならドキュメンタリーで扱うべき現実的な題材をアニメーションで表現すること。

(2) 見慣れて習慣化した日常からは見えにくくなった現実について改めて考え、現実を改変していく行動につながる可能性があるから。

問1 自分たちの夏休みとは関係なく、単に父親の仕事上の「困ったこと」だと、無関心な気持ちで捉えている。

問2 約束を破った父親を一方的に責めたが、もとをただせば、ぼくと夏休みを過ごすために生じた問題であり、父親を責める資格はぼくにはないということ。

問3 病気の母親に対しては我慢したり平気なふりをしたりしていたが、父親には本当の気持ちを言いたいから。

問4 自分との約束を破らざるを得なくなり困り果てている父親に「わかった」と言えなかったのに、父親から仕事を手伝ってくれと言われて、うれしくなり「わかった」と答えた身勝手な自分を感じてかっこわるいと思ったから。

## 三

教えるは学ぶの半ばなり

問1 遠くの国で起こる事件や戦争などのニュースや情報。

問2 戦争や内戦の現実には複雑なのに単純化され、力の論理で未来が決められていくということ。

問3 多くの人々の声が調和や美を生み出すところ。